

福岡県信用保証協会

I 法人の概要（令和3年4月1日現在）

- 1 所在地 福岡県福岡市博多区博多駅南二丁目2番1号
- 2 設立年月日 昭和24年3月29日
- 3 代表者 会長 山崎 建典
- 4 基本財産 65,289,588千円
- 5 北九州市の出捐金 437,070千円（出捐の割合 0.7%）
- 6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	23人	0人	0人	23人
常 勤	6人	0人	0人	6人
非常勤	17人	0人	0人	17人
職 員	181人	0人	0人	181人

II 令和2年度事業実績

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、非常に厳しい状態にあった県内中小企業の資金繰り支援のため、令和2年5月にスタートした新型コロナウイルス感染症対応資金に積極的に取り組んだ。

また、これまで以上に円滑かつ速やかに資金を供給するため、金融機関、地方自治体、関係機関等と連携し、手続きの簡素化と審査の迅速化に取り組んだ。

保証部門では、保証承諾は1兆5,516億円（前年比405.4%）、保証債務残高は1兆7,000億円（前年比226.5%）と短時間で大幅に増加し、リーマンショック時の実績を超えた。また新規先や過去の利用先からも多くの保証申込があり、利用企業者数は74,612者（前年比130.0%）と増加した。

経営支援・期中管理部門については、新型コロナウイルス感染症対応資金の積極的取組や、返済緩和をしている中小企業への追加資金支援の柔軟な対応、および各種政策などにより、中小企業への資金提供が速やかに行われ資金繰りが改善した結果、自己保証債務残高は減少し、代位弁済額も75億円（前年比55.4%）と減少した。

回収部門については、第三者保証人や不動産担保のない保証の浸透によって回収環境は厳しい状況が続いた中、効率性を重視した債権の管理・回収を推進し、求償権実際回収額は34億円（前年比97.3%）となった。また新型コロナウイルス感染症の影響による返済の減額等の申し出にも柔軟に対応した。

以上の結果、当期の経常収支差額は、保証利用の拡大に伴う保証料の増加を主因として前年比25億37百万円増加し、46億24百万円となったが、経常外収支差額は、急激に保証債務残高が増加したため責任準備金を57億円積み増したことで、59億31百万円の赤字収支となった。

これにより当期の収支差額は13億7百万円の欠損が生じたが、欠損額と同額を収支差額変動準備金から取り崩すことにより、収支差額は0円となった。

【保証承諾・代位弁済等の状況】

区 分	項 目	令和 2 年度	前年比
保 証 承 諾	件 数	90,483 件	294.5%
	金 額	1,551,564 百万円	405.4%
期末保証債務残高	件 数	134,202 件	147.5%
	金 額	1,700,034 百万円	226.5%
代 位 弁 済	件 数	887 件	57.6%
	金 額	7,458 百万円	55.4%

【求償権回収等の状況】

区 分	項 目	令和 2 年度	前年比
求 償 権	完済件数	66 件	81.5%
	回収額	652 百万円	58.7%
	償却件数	1,078 件	74.6%
	償却額	9,205 百万円	81.0%
期 末 求 償 権	件 数	1,373 件	84.2%
	金 額	2,765 百万円	53.5%

Ⅲ 令和2年度決算

1 貸借対照表(総括表)

令和3年3月31日現在(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	770,582	基本財産	65,289,588,654
現金	770,582	基金	11,053,269,425
小切手	0	基金準備金	54,236,319,229
預け金	61,586,273,279	制度改革促進基金	0
当座預金	113,436,707	収支差額変動準備金	31,232,962,455
普通預金	17,758,344,112	責任準備金	10,237,205,591
通知預金	0	求償権償却準備金	1,100,339,696
定期預金	43,700,000,000	退職給与引当金	1,400,833,017
郵便貯金	14,492,460	損失補償金	39,570,422,561
金銭信託	0	保証債務	1,700,033,664,415
有価証券	89,096,270,000	求償権補てん金	0
国債	0	保険金	0
地方債	40,294,570,000	損失補償補てん金	0
社債	48,787,800,000	借入金	0
株式	13,900,000	長期借入金	0
受益証券	0	(うち日本政策金融公庫分)	0
その他有価証券	0	短期借入金	0
新株予約権	0	(うち日本政策金融公庫分)	0
ファンド出資	0	収支差額変動準備金造成資金	0
動産・不動産	2,535,032,431		
事業用不動産	2,418,393,660	雑勘定	49,784,135,534
事業用動産	116,638,771	仮受金	10,919,559
所有動産・不動産	0	保険納付金	68,973,270
損失補償金見返	39,570,422,561	損失補償納付金	193,721,577
保証債務見返	1,700,033,664,415	未経過保証料	49,457,193,566
求償権	2,764,553,093	未払保険料	18,510,851
譲受債権	0	未払費用	34,816,711
雑勘定	3,062,165,562		
仮払金	12,896,761		
保証金	0		
厚生基金	32,060,900		
連合会勘定	193,651		
未収利息	102,929,873		
未経過保険料	2,914,084,377		
合 計	1,898,649,151,923	合 計	1,898,649,151,923

2 収支計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日 (単位：円)

科 目	金 額
経常収入	14,684,981,592
保証料	10,790,561,703
預け金利息	11,196,109
有価証券利息配当金	471,731,336
調査料	0
延滞保証料	0
損害金	109,777,296
事務補助金	2,141,567,405
責任共有負担金	1,110,044,000
雑収入	50,103,743
経常支出	10,060,486,453
業務費	3,224,901,999
役職員給与	1,498,044,895
退職給与引当金繰入	91,002,317
その他人件費	468,742,459
旅費	8,738,540
事務費	859,554,637
賃借料	61,840,780
動産・不動産償却	77,772,437
信用調査費	21,088,454
債権管理費	85,161,566
指導普及費	26,107,114
負担金	26,848,800
借入金利息	0
信用保険料	6,733,347,079
責任共有負担金納付金	102,237,375
雑支出	0
経常収支差額	4,624,495,139

経常外収入	14,624,469,963
償却求償権回収金	255,028,708
責任準備金戻入	4,536,752,754
求償権償却準備金戻入	1,457,811,013
求償権補てん金戻入	8,365,856,270
保険金	7,118,131,816
損失補償補てん金	1,247,724,454
補助金	0
その他収入	9,021,218
経常外支出	20,555,734,923
求償権償却	9,204,548,755
譲受債権償却	0
有価証券償却	0
雑勘定償却	6,087,169
退職金	1,733,304
責任準備金繰入	10,237,205,591
求償権償却準備金繰入	1,100,339,696
その他支出	5,820,408
経常外収支差額	△5,931,264,960
制度改革促進基金取崩額	0
収支差額変動準備金取崩額	1,306,769,821
当期収支差額	0
当期収支差額変動準備金繰入額	0
基本財産繰入額又は基本財産取崩額	0

IV 令和3年度事業計画

令和3年度から令和5年度までの3年間をポストコロナに向けた重点取り組みの期間と位置づけ、依然として厳しい状況が続く中小企業者に対する迅速かつ適切な資金繰り支援や、経営状況が悪化した中小企業者に対する金融機関及び支援機関等と連携した経営支援に取り組む。

またコロナ禍において、社会全体の行動様式の変化や金融機関業務の電子化など協会を取り巻く環境は大きく変化し、国や自治体、金融機関をはじめとして各方面でデジタル化による見直しが進められており、保証協会としてもデジタル技術を活用した業務効率化を進めていくこととし、中小企業者への速やかな融資実行や非対面かつ迅速な手続きを行うための保証業務の電子化や、中小企業者と金融機関の利便性向上のための押印レス化などに積極的に取り組む。

さらに中小企業のベストパートナーとして「信用保証」によりその経営の安定と繁栄を支援し、地域経済の発展に貢献するとともに、中小企業・小規模事業者の金融の円滑化、経営支援等に資するため、業務に取り組んでいく。

(単位：百万円、%)

	金額	対前年度計画比	対前年度実績見込比	積算の根拠（考え方）
保証承諾	550,000	171.9	40.7	<p>【保証承諾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症対応資金を中心に積極的な資金繰り支援を行い、県内中小企業者への金融支援が一定程度行き渡っており、令和2年度と比較し、減少傾向を辿るものと見込む。 <p>【保証債務残高】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は急激な伸びを見せたが、新型コロナウイルス感染症対応資金の償還等により減少傾向を辿るものと見込む。 <p>【代位弁済】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた息切れ倒産等の増加が想定されることから、代位弁済は増加傾向を辿るものと見込む。 <p>【実際回収】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者保証人のいない求償債権の増加、有担保求償債権の減少が進むなど回収環境は厳しい状況が続くと見込まれるため、引き続き効率性を重視した管理・回収に努める。
保証債務残高	1,530,000	218.6	93.9	
代位弁済	20,000	142.9	266.7	
実際回収	2,800	93.3	84.8	

V 役員名簿

令和3年8月6日現在

役職名	氏名	備考
会長	山崎建典	常勤
副会長	谷川浩道	福岡県商工会議所連合会 会長
専務理事	白谷正彦	常勤
常務理事	岩永龍治	常勤
〃	山崎 巖	常勤
理事	梅田治信	常勤
〃	松本恭子	福岡県 商工部長
〃	渡邊美穂	福岡県議会議員（県民生活商工委員会委員長）
〃	高島宗一郎	福岡市長
〃	北橋健治	北九州市長
〃	大久保 勉	久留米市長
〃	花田稔之	福岡県商工会連合会 会長
〃	桑野龍一	福岡県中小企業団体中央会 会長
〃	柴戸隆成	福岡銀行 頭取
〃	村上英之	西日本シティ銀行 頭取
〃	佐藤清一郎	筑邦銀行 頭取
〃	嘉藤晃玉	北九州銀行 会長
〃	古村至朗	福岡中央銀行 頭取
〃	三浦 玲	商工組合中央金庫 福岡支店長
〃	野村廣美	福岡県信用金庫協会 会長
監事	日山尚之	常勤
〃	豊永明壽	西部ガスホールディングス株式会社 顧問
〃	行正晴實	行正晴實公認会計士事務所長